

Volume.035



徳山大学校友会誌

とくだい

発行所
徳山大学校友会

〒745-8566
山口県周南市学園台 徳山大学内
TEL/FAX 0834 (28) 7454

発行日
平成23年3月20日

発行責任者 國廣 憲

編集責任者 瀬川 昌文



徳山大学キャンパスの四季

卒業して、久しぶりに大学を訪ねた方は「自分たちの頃とは随分、変わったな」と、言われます。今年度創立40周年を迎える徳山大学のキャンパスは、春には梅や桜、初夏の新緑も美しく、大学祭の時期には、かえでやもみじが、行き交う人の目を楽しませ、心を癒してくれます。また人工芝のグラウンドには学生の声が飛び交っています。決して大きくはないけれど、心温まる、人と人のふれあいの多いキャンパスの姿は今も変わりません。（撮影：中村道陽）

平成二十二年度 評議員会開催

度 徳山大学校友会評議員会



平成22年度評議員会が6月26日周南市ホテルサンルート徳山で開催されました。まず、古谷副会長より、「徳山大学は来年度創立40周年を迎えます。学長も永らくお世話になりました。杉光英俊学長から岡野啓介新学長へと、この春交代され、新しい時代を迎えております。皆様と共に、母校の発展に寄与貢献して参りたいと思います。また、校友会会員の相互の交流が深まるよう努力を続けて参りましょう」と、挨拶がありました。議事では、21年度の事業及び決算報告、続いて、22年度活動方針・事業計画並びに予算案について審議が行われました。この中で特に、徳山教育財団(徳山大学)評議員候補者について、大学側より古谷副会長に監事就任の依頼があり、これに伴い、新たに2名の推薦を求められました。そこで現在の國廣会長に加え、新たに廣瀬副会長及び瀬川副幹事長が評議員として推薦され承認されました。このあと、岡野啓介学長より、大学のこれからの教育方針と近況について懇切にご説明いただきました。引き続き行われた、懇談会では大学から教職員の方、また学生ゲストを迎え例年以上に、楽しいひとときを送りました。

校友会岡山支部発起人会 開催される

平成22年11月13日岡山シティホテル桑田町別館にて、徳山大学校友会岡山支部発起人会が開かれました。代表に山本和重さん(岡山県警察本部16期)副代表に延原宏さん(神戸星城高等学校16期)と稲垣直哉さん(東亜道路工業19期)事務局に延原誠さん(内外総合通信社19期)が選任され、事務局は延原誠さんの経営されている、株式会社内外総合通信社内に置かれました。平成23年4月に支部として発足し、年度内に発足記念総会も開かれる予定となっています。多くの岡山地区の卒業生のご参加をお待ちしています。お問合わせ及び連絡先—086(286)8123内外総合通信社 延原さんまで



地域の方に新たな学びを サタデーレクチャー開講

—新しいことが必ず見つかる土曜日の午後の講座—をキヤッチフレーズに、周南市文化振興財団と徳山大学・校友会がタイアップして今年度から始めた、サタデーレクチャー

が開講されました。1回目は1月22日周南市文化会館展示室で長澤雅彦氏(映画監督・徳山大学教授)、2回目は2月26日徳山大学201教室で市山尚三氏(オフィス北野・映画プロデューサー)3回目は3月12日文化会館でしの武さん(作家)を講師に、毎回約80名の地域の方を受講生としてお迎えして、充実した午後のひとときを送ることができました。



山口国体開催記念 フォークコンサート元気です

今年開催される山口国体を記念して、平成23年2月12日周南市市民館大ホールで、校友会主催のフォークコンサートが開催されました。このコンサートは、フォークソングを通して、地域に元気を発信し、その元気を山口国体に繋げ、併せて収益の一部を国体募金に寄付するという趣旨で開催されました。卒業生でプロ活動中の永谷青空さんのほか、地域で活動中のプロアマの演奏に、記録的な豪雪の中、お集りいただいた約250名の聴衆は魅了されました。コンサートは徳大生も協力し、成功の裡に終了しました。(関係記事・4ページ)

育成すべき 学生像

徳山大学 学長 岡野啓介



徳山大学は創設以来、「個性の伸長を本旨とする『知・徳・体』一体の教育を行う」という教育理念を掲げ、総合的な『人間力』を備えた人材の育成に努めてきました。「知」や「体」に代表される諸能力 ability に対し、種々の社会的局面に遭遇して、それらの諸能力をどの方向に生かし、社会全体にとって良い結果・成果をあげることが出来るか、その要因となる能力が「徳」であるといえます。この「徳」を従来の virtue という意味合いに留まらず、現代社会が抱える諸問題に則して competency (※コンピテンシー) と捉えるところから始まったのが、本学の「EQ教育」です。EQは Emotional Quotient (このころの知能指数) の略で、IQ (Intelligence Quotient・知能指数) に対比される概念です。自己を正しく認知し制御する能力、他者を思いやり長所・短所を理解して協力体制を作り上げるリーダーシップ、

※ コンピテンシーは、自分自身や仲間の持つ能力を上手く運用し、グループ全体として高い成果をあげる能力で、現代社会が求める最も重要な能力ともいわれています。

そしてそれを支えるコミュニケーション力などをさします。社会のなかで自立した人間として生きていくための総合的な「人間力」の育成のため、徳山大学ではEQを意識的な育成の対象と捕らえオリエンテーションから卒業までの一貫した新しい教育プログラムとして提供してきました。その導入にあたっては、他大学には類例のない特徴的な教育内容を誇るものですが、問題もありました。EQ教育はまだ新しい分野で、学術的に裏打ちされた確固としたものがないのです。大学の教職員が協力し合い、学外の専門家の協力を得ながら、やっとのことで作り上げてきたのが現在のプログラムです。しかし、今年度のEQトレーニングIには嬉しい誤算がありました。このトレーニング合宿にリーダーとして参加した高学年の学生たちの頑張り、そしてその学生をリードした教員のスキル、そして全般を通してのリーダー学生自身の成長ぶりの中に、我々のEQ教育の目標とすべきものが見えてきたような気がしているのです。

学生諸君にはこのEQ力に加えて、地域に根差した感覚を持ちながら常にグローバルな視点を持つ姿勢を備えてほしいと思っています。このために必要不可欠となるのがICT活用能力、すなわち高い情報処理技術をもって情報収集を行い問題解決に資することが出来る能力です。本学では昨年度末から、キャンパスのICTインフラの整備を徹底的に行ってきました。学生一人に一台のモバイルパソコン環境の実現をめざし、各所に無線LANのアクセスポイントが配備

されたキャンパスではいたるところからインターネット接続を可能としました。教室ではパソコンを利用して実施される授業が徐々に増えていきます。また、講義の e-learning 化を促進する学習管理システム(LMS)の導入と、学生のキャンパスライフとキャリア形成を支援するためのデータベースシステム(CASK: キャスク)の構築も、着々と進んでいます。CASKにはEQ診断結果、学習履歴や資格取得履歴、それらのデータをもとに学生自身が記入したキャリア設計の記録、それに対するゼミ教員やアドバイザーのコメントなど、学生のデータが格納されます。このCASKを介して学生と教職員が対話しながら、キャリア形成を進めていくことができるよう設計されています。学生にとって、CASKやLMSなど学内の情報資源を、ICT技術を駆使しフルに活用する事ができて初めて、実りあるキャンパスライフを送ることが出来るようになる、そんなキャンパスの将来像を我々は「徳山大学サイバーキャンパス」と呼んでいます。そしてその実現に向けた一歩を、今年度、踏み出したのです。

今後も、これらのキャンパス環境の整備を一層進めていくとともに、専門教育で得た各種の ability を活かして地域社会の活性化に資するための能力 competency を、地域との連携をとおして育成する教育メカニズムを考案し、学内に構築・定着していくことが、我々に課された重要な任務であると考えています。

懐かしのキャンパス
昭和50年代のキャンパス



本館増築前(昭和50年代前半)現在は本館が
増築、向かって左側に図書館右側に11号館(旧
短大)の建物が建っています。



キャンパス全景 徳山高専側から望む。
体育館や10号館(知財館)はまだ建設されていません。



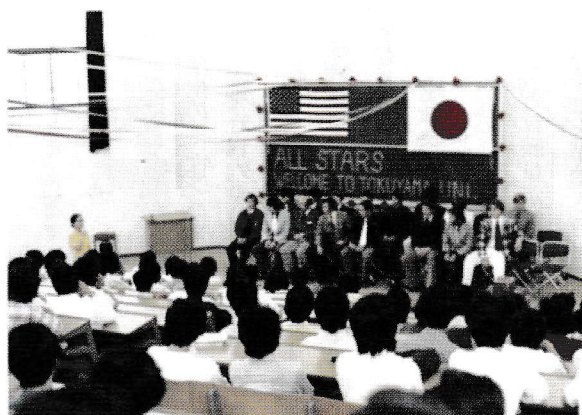
校風寮(現在ラグビー部合宿所)での地域の福祉施設
の子供達との交流会の様子。杵を子どもと一緒に持つ
ているのは山本輝彦さん(2期生)



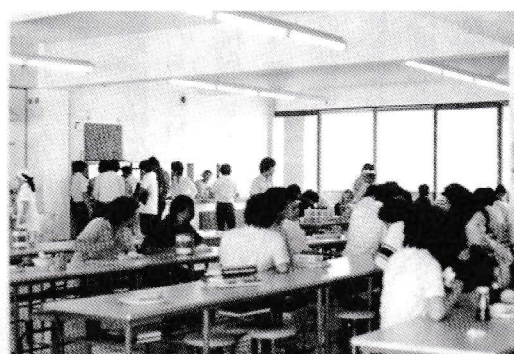
ゼミ(演習)授業風景 昨年退職された中谷孝久先生のゼミの
様子です。背中の方はメッセージをお願いします。



グラウンドで行
われた大学祭
のファイヤース
トーム。現在は
人工芝が貼ら
れ、もう見るこ
とのできない
光景です。



カリフォルニア州選抜大学レスリングチームとの交流会の模様(301教室)
右端でマイクを持ち進行兼通訳を務めておられたのは水野正子先生(現在退職)



20期くらいまでの方には、説明不要の旧学生食堂内。
それぞれの思い出がよみがえるのでは？

テコンドー全国大会で入賞！

佐々木俊衛さん（16期）東京都在住

（株式会社スピード＆ストラテジー代表取締役社長）

株式会社スピード＆ストラテジーを19年経営されるかたわら32才からテコンドーを始め現在44才、

2段。今年2月19日20日に国立代々木競技場で行われた第22回全日本テコンドー選手権、パワーブレイキング（試割）の部で3位に入賞されました。

（正拳、手刀、横蹴、回し蹴、後ろ回し蹴で割った板の合計枚数での勝敗）入賞者の中ではダントツの最年長でした。「さすがにもう組手の試合は体力的に無理なので、ラストチャンスで試割に挑みなんとか結果が出せたのが幸いでした。

徳大テコンドー部創部を期待しています」とのコメント。

日本国際テコンドー協会サイト <http://www.taekwon-do.co.jp/>



卒業して・・・何年・・・

いろいろな場所で活躍されている

卒業生をご紹介します！

※ご投稿もお待ちしております。



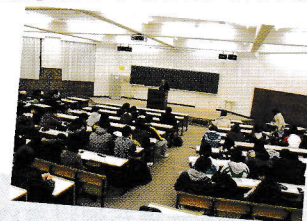
徳山大学で在学生に講話

平島民夫さん 2期 熊本市在住 写真左（中九州青果株式会社代表取締役社長）

山本輝彦さん 2期 大分市在住 写真中（株式会社西日本新聞広告社代表取締役社長）

黒川生次さん 15期 東京都在住 写真右（株式会社日立産機システム）

3人の方は徳山大学の3年生を対象とした校友会主催のOBリレー講座講師としてお話をされました。どの方も、在学生時代の思い出から、社会人として考えていること、就職するにあたり、大学生としてどのようなことを準備しなければならないかなど、含蓄にあふれるお話をしてくださいました。



写真コンテストで入賞

大木忠彦さん 14期 下松市在住

（株式会社新笠戸ドッグ）

※写真は入賞作品「SLのある風景」

大木忠彦さんの写真活動 30 年記念企画「なんとなく 30 す」が、平成 22 年 8 月 19 日より 9 月 7 日まで下松市花岡の画材屋 R で開催されました。大木さんは、大学時代も写真部に所属、これまで様々なテーマで写真を撮り続けてきました。現在、地元の会社に勤めながら、コダックフォトクラブ山口支部長も務めておられます。最近では「よみうり風景写真コンテスト 2010」（読売新聞主催）で入賞し、「こころの風景」として全国書店で販売されています。



フォークコンサート元気です 2011 で熱唱！！

永谷青空（智巳）さん 27期 宇部市在住

（FMきららデレクター・シンガーソングライター）

2月12日（土）周南市市民館大ホールで行われた「山口国体開催記念フォークコンサート元気です 2011」で、メインボーカルとして熱唱、集まったお客様にトークで笑いを歌で感動を与えました。現在は宇部市に拠点をおき、「FMきらら」でデレクター兼番組パーソナリティを務め、音楽活動も続けています。つややかな歌声の青空君、学生時代は 52 ㌔だった体重が、今は 5 割増？その分人間性も増しています。



とくだいインフォメーション

新学長 岡野啓介先生 就任



任期 平成22年4月～平成26年3月
大阪府出身、光市在住
専門分野・理論物理学・情報教育

■略歴

早稲田大学大学院・理工学研究科博士課程修了（理学博士）82年早稲田大学理工学部・物理学科・助手、85年西独ジューゲン大学・物理学科・助手、90年徳山大学着任（助教授）99年徳山大学教授97年米国カリフォルニア大学ロサンゼルス校・客員研究員05年経済学部長就任（現在に至る）

退職教職員紹介

平成23年3月31日付けで、退職される教職員をご紹介します。（氏名 職名 主な担当科目又は所属）

教員

◎市川 整 教授（日本語）

◎大竹 義則 教授（環境地理学・地理歴史教育法）

◎手塚 宗平 教授（中国語）

◎八田 善穂 教授（論理学・科学哲学）

◎楨谷 正人 准教授（経営学総論）

◎樋口 淳一郎 講師（福祉入門）

職員

◎雨宮 潔 （エクステンションセンター）

最終講義フォトセッション



どの先生の講義にも、多くの学生、また教職員が、駆け付け授業を拝聴しました。卒業生の中にも、「あーあの先生も退職されるのか」と感慨ひとしおの方もいらっしゃると思います。先生方、長い間、お疲れさまでした、お世話になりました。

シートエッセイ

大学祭も終わりました。今年は40回目のポプラ祭でした。学生さんたちは「ポプラ」という造語のテーマを掲げ、これまでより、少しでも違う大学祭にしようと、日夜準備を重ねてきたようでした。これまで40年間本学の大学祭は本祭を2日行ってきました。これだけでも大変なことです。昨年はそれを1日という話も一時出ていましたが、校友会の協力により、これまでどおり2日間の本祭が実施されました。そういう意味では、今年の学生さんの手による2日の祭りは新たな第1歩と言えるかもしれません。現在はメイン会場を記念館に移し、少しコンパクトな印象になりました。しかしながら、いいのかなのか1件の苦情もなく無事終了しました。大学祭を休暇ととらえる人、学生時代の思い出に楽しむべきだと思える人、それぞれの1週間が終わりました。大学祭は40年前「出発進行」をテーマにスタートしました。当時、ほうきポプラの木のように、空高く、すくすくと本学が発展していくこととの祈りを込めて、「ポプラ祭」と命名されたと記録が残っています。あれから40年「ポプラ」が示す思いは、いつの時代の学生さんとも思い続けてきた普遍的テーマかもしれません。来年も、先輩の思いは引き継がれ、さらにブラスワンの大学祭が開かれていくことでしょう。



クラブ活動情報

男子バスケットボール部春季連続優勝

中国バスケットボール選手権春季優勝大会において男子バスケットボール部が予選から決勝リーグまですべてトリプルスコアという、圧倒的強さで優勝しました。

また秋季大会においても他を圧倒する強さで優勝しました。なお、秋季大会において江上洋之選手（経済4年）が最優秀選手賞に選ばれました。

陸上競技部・フィールドの部で総合優勝

陸上競技部は、5月14～16日に島根県で開催された中四国学生陸上競技対校大会に参加し、男子フィールドの部および女子フィールドの部で総合優勝を果たしました。

「各種目優勝者」男子 砲丸投 立野優貴選手（経済4年）
女子 砲丸投・ハンマー投 富田江利奈選手（経済4年）
優勝の2名は、昨年9月に開催された全日本インカレ大会へ出場しました。

中国四国学生アーチェリー王座決定戦で
男女全国大会へ出場

創部3年目のアーチェリー部（部員11名）が今回の中四国学生王座決定戦で、団体の女子が優勝、男子が2位となり初の全国大会出場を決めました。なお、2010年インカレフィールド大会女子の部において大塚渚選手（経済2年）が堂々の2位入賞を果たしました。

地域の防犯パトロールへ TUP結成

山口県内各地では、各所管の警察署と協力して「地域の安全は地域で守る」を合言葉に地域住民の方々による自主防犯ボランティア組織があり、地域の安全のための防犯パトロールや子どもの見守り活動等に取り組んでいます。この活動に本学も賛同し、防犯ボランティア学生グループ、TUP（徳山大学パトロール）が結成されました。現在では、周南署及び地域の方々と共に、各種防犯活動に取り組んで防犯パトロール活動を続けています。

学生の声・声・声

私のおもう徳山大学

経済学部1年 木村礼佳



入学してはや一年過ぎましたが、先生や職員の方たちとの触れ合いも多く、何もしないでも、大学にただで落ち着く気持ちになります。最初、男子学生が多くて圧倒されそうでしたが、その後は授業や大学行事を通して、男女問わず、いい先輩や友達に恵まれ、今は本当にアットホームな大学と思っています。人と人のふれあいの多さ、これが何より私はこの大学入学して良かったことだと感じています。

徳山大学の

オープンキャンパスとオリゼミ

徳山大学のオープンキャンパスは、大学側で企画は立てますが、その運営は学生さんが主体となっており、行われています。この流れは、かつて秋吉台で行われていた、オリエンテーションセミナーの流れを汲むものと言えます。

当然のことながら、大学の歴史というものは一朝一夕でできるものではありません。徳山大学ではかつて入学生を一堂に集め合宿形式のガイダンスセミナーを行っていました。これは、新入生がスムーズに大学生活に入っていくけるようにと大学のシステムを知り、友達づくりをする場として、行われたものでした。一見、新入生のためだけの行事のようにも見えますが、実はオリゼミを運営することが、教職員、在学生が一体となり有機的に関わる絶好の機会でもありました。「新入生のために」という共通の目的のために協力し、達成感を共有することのできたオリゼミとは貴重な機会でした。

毎年、オープンキャンパス開催に向けて学生さんが奮闘してくれています。本学ならではの良さは、残していかなければとの思いを抱きながら、その姿を見守っています。



お便り紹介 一校友会にお寄せいただいたお便りをご紹介します—

1期 下松市在住 武居 正修 さん

会誌とても懐かしく読ませてもらいました。草創期のキャンパス特に懐かしかったです。

私は1期生ですので当時を思い出しました。冬に学内のマラソン大会があり久米温泉郷を折り返すコースで、私は3位になったことを覚えています。これからも気持ちを新たに生活していきます。ますますの徳山大学の発展を心より期待して応援しています。

14期 岩国市在住 岸田 隆 さん

私も大学を卒業して20年以上たちました。なかなか大学へ行く機会はありませんが、「校友会誌」は最近の情報を知るうえで大いに役にたっています。「佐原先生お疲れ様でした」何かしら、徳山大学とは、かかわっていきたいです。

15期 広島県在住 岡田 収 さん

いつも校友会誌を見るたびに懐かしく思い、大学時代が一番輝いて青春していたと思います。何人かの友人とは今でも仲良くしております。お世話になった佐原教授・山岸教授が退任され寂しく思います。

27期 周南市在住 山本 尚 さん

徳山大学校友会誌を拝読させて頂きました。発行毎に面白さが増しており、また様々な情報を提供して頂き、非常に充実した内容だと思います。また、後輩方の頑張ってる姿等により小生も刺激を受け、もっと頑張ろうと言う気持ちになりました。これからも応援していますので頑張って頂きたいと思います。

31期 広島県在住 猪野 龍介 さん

今回の校友会誌の表紙をみてグラウンドが一面芝生になっていたのが驚きました。また杉光学長には講義をして頂いたもので退任の知らせに驚きました。ちょうど10年前希望を胸に入学したのがついこの間のように感じます。改めて時の流れを感じます。

—ありがとうございました—



<プレゼントコーナー>～山口県名産品～

①



① 永谷青空CD・・・3名様

フォークコンサートで熱唱した青空君のCDです。

②



② 岡虎黄金竹輪 10本セット・・・3名様

創業明治10年、平成22年第62回全国蒲鉾品評会農林水産大臣賞受賞の山口県名産の竹輪です。

③



③ 朝日屋熟成ベーコン・・・3名様

昨年好評いただきましたので引き続き、下松市の朝日屋の秀逸の品をプレゼントします。

プレゼント希望の方

希望商品、氏名、年齢、住所、電話番号、会誌へのご意見・ご感想をお書き添えの上、

郵送の場合

〒745-8566 山口県周南市学園台 徳山大学校友会

Eメール応募の場合

kouyukai@tokuyama-u.ac.jp

ご送付ください。

※ご意見・ご感想は、誌上・HP上で掲載されることがありますので、予めご了承ください。また、個人情報については、事務連絡のみに使用させていただきます。

編集後記・お礼

今冬は非常に厳しい寒さでしたが、ようやく春の訪れを迎えました。校友会会員皆様のご健勝とご活躍を、お祈り申し上げます。

編集スタッフ 企画広報部主幹 瀬川昌文(1期)

三嶋隆史(3期) 中村道陽(11期) 野村哲也(20期)

藤田美恵(事務局) 協力 徳山大学